

広島学セミナー

県立広島大学との連携講座

平家にまつわる  
祈りの世界

2/28(火)～3/13(火)  
全3回  
定員：100名(抽選)

- 「厳島を訪れた人々」「平家にまつわる祈りの世界」は個別の講座です。一講座ずつお申し込みください。
- 日時・内容等は、裏面をご覧ください。

厳島を訪れた人々  
江戸時代の資・史料を読み解く

3/3(土)～3/24(土)  
全3回  
定員：70名(抽選)

- 会場：広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟5階 研修室AB(広島市中区袋町6番36号)  
駐車場はありません。駐輪場は、地下に公共駐輪場(有料)があります。
  - 対象：広島市内に在住か通勤・通学の人
  - 受講料：1,500円(3回分)/1講座(納付方法は別途通知します。)
  - 申込方法：はがき(一人1枚、1講座ごと)に、①講座名、②氏名(フリガナ)、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を記入し、下記の宛先へお申込みください。なお、電話・FAXでの申込受付はございません。  
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号  
(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課「リカレント講座」係
  - 申込：各講座とも、平成24年1月4日(水)～2月6日(月)【必着】  
※抽選結果の発送は2月13日(月)頃を予定しています。
  - 問合せ先：(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課  
TEL(082)541-5335 FAX(082)541-5611
  - 主催：(財)広島市未来都市創造財団、広島市
- ※申込みの際にお寄せいただいた個人情報については、県立広島大学と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。

## 平家にまつわる祈りの世界

平家一門の祈りといえば、平清盛の巖島信仰が有名ですが、清盛周辺の人々も様々な想いや祈りを胸に、激動の時代を生き抜きました。この講座では、平家一門にまつわる祈りの世界を紹介します。

### ①巖島神社をめぐる平清盛・頼盛兄弟

日時 2月28日(火) 18:30~20:30

講師 人間文化学部国際文化学科

教授 松井 輝昭さん

巖島神社といえば「平清盛」という言葉が出るくらい、この人物は広島の皆さんには有名です。しかし、弟頼盛も巖島神社を厚く信仰したことは、当地ではあまり知られていません。この講座では、平頼盛の立場から見た、平清盛と巖島神社の関わり方をお話します。

### ②平維盛の舞姿-『源氏物語』享受史のなかで-

日時 3月6日(火) 18:30~20:30

講師 人間文化学部国際文化学科

教授 西本 寮子さん

安元2年、平維盛は後白河院の五十賀で青海波を舞って光源氏になぞられました。人々の記憶にとどめられた『建礼門院右京大夫集』の記事を手がかりとして、平家の時代が『源氏物語』享受史の中でどのような意味を持っているかについて考えます。

### ③清盛をめぐる女たち…妓王と仏の物語

日時 3月13日(火) 18:30~20:30

講師 人間文化学部国際文化学科

教授 樹下 文隆さん

平清盛が愛した女性の中でも、情け容赦のない清盛の仕打ちに抗した妓王・妓女姉妹と仏御前の物語は、人々に深い感動を与えました。『平家物語』や能『祇王』『仏原』から、白拍子舞の女たちの想いを読み解きます。

## 巖島を訪れた人々

### ~江戸時代の資・史料を読み解く~

江戸時代、「日本三景」の一つに数えられた巖島は、人々の憧れの地でした。武士、僧侶、俳人らが残した資・史料を読み解き、人々を惹きつけた巖島の魅力について語ります。

### ①長州藩士の巖島参詣

日時 3月3日(土) 10:00~12:00

講師 宮島学センター

助教 大知 徳子さん

長州藩士・湯浅明信は、約半月の間、安芸国を調査した際の旅行記『辛未紀行』を書き残しています。文書や記録の作成を司る政務座右筆を務めた彼の目に映った宮島の姿を手がかりに、江戸時代の巖島参詣について考えます。

### ②巖島八景の成立とその伝播

日時 3月10日(土) 10:00~12:00

講師 人間文化学部国際文化学科

教授 柳川 順子さん

「巖島八景」は、どのような経緯で形成され、伝播した美意識なのでしょう。伝存史料を読み、綴り合せてゆきながら、巖島の美に魅せられた当島内外の人々の、手から手へと渡されていった思いのリレーをたどります。

### ③阿波からの来訪者-旅日記「出向かう雲の花の旅」を読む-

日時 3月24日(土) 10:00~12:00

講師 人間文化学部国際文化学科

教授 西本 寮子さん

江戸時代の巖島は多くの来島者で賑わいました。出雲大社参詣の途次、巖島に立ち寄った酒井弥蔵の旅日記を手がかりとして、その足跡をたどりながら旅への思いを探り、当時の巖島の様子を垣間見ます。

※3月17日(土)はお休みです。

